

<b>〔科目名〕</b> 自治体政策法務	<b>〔単位数〕</b> 2 単位	<b>〔科目区分〕</b> 選択科目
<b>〔担当者〕</b> 昆 忠彦 Kon Tadahiko	<b>〔オフィス・アワー〕</b> 時間:授業の前後など随時 場所:教室、非常勤控室等	<b>〔授業の方法〕</b> 講義及び演習
<b>〔科目の概要〕</b> <p>地方分権一括法が 2000 年より施行され、それまで続いてきたわが国の中央集権的な地方自治の制度が改革され、国の自治体に対する統制が縮減されることになった。このことにより、自治体の自己決定権は拡充され、従来制約を受けてきた個性あるまちづくりや独自の政策展開の可能性が広がった。しかし、このことは、これからの政策形成に関しては、それぞれの自治体の力量が問われることに他ならない。自治体は自ら政策を策定し、まちづくりを行えるようになった一方、このような自己責任を全うするためには、自治体は政策形成と自治体の運営能力を高めていくことが求められる。</p> <p>具体的には、自治体職員の政策形成、財政運営、そして自治体法務の能力を高め、実質的な住民自治を達成するため、住民を含めた自治体全体の能力の向上を図ることである。</p> <p>当科目では、自治体政策法務の基本的な考え方を学びつつ、地域コミュニティや NPO などの非営利団体、民間企業等とのパートナーシップの内容や動向を紹介し、学際的観点から地域社会における政策法務のあり方を明らかにし、その活用の仕方を考える。</p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> <p>政策法務は、多種多様な領域と結びついている。なぜならば、市民自治の下で、地域に生きる人々の豊かな生活の営みと新たな地域社会の創造に関係しているからである。地域の一人ひとりが主役であり、潜在的な可能性を引き出し、日々成長を続け、新しい自己と地域社会を創造していくために、何が必要となるか、究明していく。</p> <p>そのため、当科目では、地域社会において重要な役割を果たしている政策法務について、主として政策、財務、法務、市民自治等の観点から把握し理解を深める。そのために、自治体政策法務に隣接する諸科学の成果をも援用しつつ、学際的にアプローチする予定である。当科目を学ぶことによって、皆さんが地域社会に生きる一市民として、自治体政策法務の役割と意義を再検討することが期待される。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <p>○最終目標          政策法務の様々な動向を踏まえて、さらに改革を行っていく上で必要と思われる内容を関連する社会科学の諸観点から理解する。</p> <p>○中間目標          政策法務に関連する地域政策の具体的ケースを事例に沿って理解し、その意義と役割について理解を深める。特に、近年の社会における少子高齢化と緊縮した財政運営の中にあって、さまざまな政策動向が見られる。その実態を知ることによって、将来の改革展望についての認識を新たにできる。</p>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> スライドや各種資料を活用して、できるだけ分かり易い講義に努めます。		
<b>〔教科書〕</b> オリジナルの資料を使用します。 なお、授業中に指定図書、参考書等の読書を課する場合があります。		
<b>〔指定図書〕</b> 磯崎初仁『自治体政策法務講義』(改訂版) ぎょうせい		
<b>〔参考書〕</b> 加藤良重『自治体は誰のもの？－政策・財務・法務から考える－』公人の友社 鈴木康夫(監修)『ケーススタディ図解自治体政策法務』ぎょうせい 森幸二『自治体法務の基礎と実践』ぎょうせい 自治体法務検定委員会『自治体法務検定問題集 2023 年度版』第一法規 ※このほかにも随時、授業中に紹介します。		

<b>〔前提科目〕</b> 特にありません。（「自治体経営論」、「行政経営論」と関連します。）	
<b>〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等）</b> 簡易なレポートの提出、もしくは小テストを行う予定です 評価は、試験、レポート、小テスト、授業中の参加態度、意見等を総合的に見ます。	
<b>〔評価の基準及びスケール〕</b> 上記の内容をもとに以下の点数の範囲で評価を行います。なお、配点は授業時に説明いたします。 A(80%以上)、B(79～70%)、C(69～60%)、D(59～50%)、F(50%未満)。	
<b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b> 少子高齢化、情報化、国際化の進展という社会変化のなか、どのような地域社会を構想していけばよいか、自治体の政策法務という観点から検討いたします。政策法務の必要性、動向を深めることにより、実際の自治体のうごき、地域づくりにも言及いたします。受講を契機に自治体の現場や関連書籍に触れ、知見を広めてください。	
<b>〔実務経歴〕</b> 自治体職員	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか)：オリエンテーション(自治体政策法務論の射程) 内 容：科目の概要、自治体政策法務のあゆみ、自治を支える政策法務 教科書・指定図書 講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第2回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の基礎 内 容：自治体の制度保証 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第3回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の基礎 内 容：自治体政策の意義と展開 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第4回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の基礎 内 容：政策実現手法としての財務(1) 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第5回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の基礎 内 容：政策実現手法としての財務(2) 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第6回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の基礎 内 容：政策実現手法としての政策法務 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第7回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の現状と課題 内 容：政策法務の理論(1) 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第8回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の現状と課題 内 容：政策法務の理論(2) 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。
第9回	テーマ(何を学ぶか)：自治体政策法務の現状と課題 内 容：政策法務の実務(1) 教科書・指定図書：講義に沿ったレジュメを配布いたします。

第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 自治体政策法務の現状と課題</p> <p>内 容: 政策法務の実務(2)</p> <p>教科書・指定図書: 講義に沿ったレジュメを配布いたします。</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 自治体政策法務の現状と課題</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(1)</p> <p>教科書・指定図書: 講義に沿ったレジュメを配布いたします。</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 自治体政策法務の現状と課題</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(2)</p> <p>教科書・指定図書: 講義に沿ったレジュメを配布いたします。</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 自治体政策法務の現状と課題</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(3)</p> <p>教科書・指定図書: 講義に沿ったレジュメを配布いたします。</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 自治体政策法務の現状と課題</p> <p>内 容: 地域社会課題と政策(4)</p> <p>教科書・指定図書: 講義に沿ったレジュメを配布いたします。</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 自治体政策法務の現状と課題</p> <p>内 容: まとめ</p> <p>教科書・指定図書: 講義に沿ったレジュメを配布いたします。</p>
試 験	<p>期末レポートを実施します。</p>